

発行日	令和3年8月31日	担当者	営農企画課 河守 綾香
対象期間	令和3年8月31日～9月13日		
発行者	J/Aハイナン 営農企画課		
原稿提出者	○茶：東部C丹所 ○大根・馬鈴薯・メロン：東部C水野 ○水稻・レタス・サニー：西部C河原崎 ○みかん：東部C浅野 ○いちご：西部C村松		

項目 品目	生育状況・病害虫発生状況	管理・病害虫防除
茶	<p>秋芽の生育は連日の雨の影響から施肥、防除が行えない状況が続きましたが、概ね生育は順調です。秋冬番茶摘採は例年並みの9月下旬からの見込みです。</p> <p>○クワシロカイガラムシ クワシロカイガラムシの防除適期は幼虫が歩行している数日間です。 適期を過ぎると極端に防除効果が落ちますので、ご注意ください。 また、この時期はクワシロカイガラムシ天敵の発生時期にもなります。 他の病害虫防除の際は合ピレ剤や有機リン剤の使用を控えることをお勧めします。 ☆静岡県病害虫防除所の予測（8月26日発表） 防除適期 御前崎 8月24日～数日間 牧之原 9月10日～数日間</p> <p>○チャハマキ・チャノコカクモンハマキ 秋冬番茶前の発生ピークに近づいているようです。茶園をよく観察し防除を行ってください。</p> <p>秋冬番茶を摘採する茶園では、ラベルに記載された摘採日数を順守した防除を行ってください。</p>	<p>○クワシロカイガラムシ ※10aあたり 1000ℓ アプロードエースフロアブル 1000倍 14日-2回 コルト顆粒水和剤 2000倍 7日-2回</p> <p>○チャノミドリヒメヨコバイ・チャノキイロアザミウマ コルト顆粒水和剤 2000倍 7日-2回 または アグリメック 1000倍 7日-1回 ※アグリメックはカンザワハダニ、サビダニ、ホコリダニに効果があります。 ※両剤ともチャトゲコナジラミに効果があります。</p> <p>○チャハマキ・チャノコカクモンハマキ ハトジの防除には、主にジアミド系薬剤と IGR 系薬剤、BT 剤を使いますが BT 剤以外の薬剤は抵抗性がつきやすいことと、薬剤によって防除適期が違うことに注意しなければなりません。 前回使用した薬剤と別系統の薬剤を選択し、薬剤の防除適期を考慮しながら防除計画を立ててください。</p> <p>○炭疽病・褐色円星病 インターフロアブル 5000倍 7日-2回 スコア顆粒水和剤 2000倍 7日-2回</p>
いちご	<p>タンソ病、ハダニ、コナジラミが多く発生していますので防除並びに環境の改善を行って下さい。</p> <p>・防除 この時期使用する薬剤は育苗期にしか使用できない物や、天敵、ハチに影響のある薬剤を使用して下さい。ただし、天敵の影響日数が長い物がありますので注意して薬剤を選択して下さい。</p> <p>・コガネムシ対策 ダイアジノンSLゾル(25倍希釈液を100ℓ/10a)を畝立前に使用して下さい。 定植後にコガネムシ防除で使用できる薬剤はありませんので必ず使用して下さい。</p>	<p>子株管理</p> <p>・施肥管理 この時期は置肥は置かないで液肥で管理して下さい。 クミアイ液肥2号を水道水で希釈した場合 500倍…ECO. 8 800倍…ECO. 5 1000倍…ECO. 4 硝酸イオン試験紙で定期的に測定し肥料切れしていないか確認をして下さい。</p> <p>・灌水管理 灌水は朝十分に行います。天候により乾いてしまうようなら遅くとも3時頃までに灌水又は葉水を行って下さい。過剰な灌水はタンソ病の発生が助長されますので注意して下さい。</p> <p>・葉枚数 3枚程度葉があるように葉かきを行って下さい。但し、定植時には4～5枚程度になるように調整して下さい。</p>

<p>みかん</p>	<p>病虫害防除 黒点病 時期 9月中下旬 ※枯れ枝は取り除きます。</p> <p>スリップス 時期 9月中下旬 第7世代ピーク9月10日頃 ※防除所予測。</p> <p>ミカンハダニ・サビダニ 時期 9月中下旬</p> <p>作業 青島の後期摘果 着果が多い樹 9月中旬頃から、上部、内裾なり果と、品質の劣る大玉や小玉果、病害傷果を優先して摘果します。 目通りは外観不良果を優先して、下向きでぶら下がる果実を残すようにします。 着果の少ない樹 摘果は、着果ストレスをかけるよう収穫前に行います。</p>	<p>黒点病 ペンコゼブ水和剤 600倍 (30日-4回、茶登録なし) (みかん) ※かんきつは収穫前日数が90日です。 スリップス ディアナWDG 10,000倍 (前日-2回、茶登録なし)</p> <p>ミカンハダニ・サビダニ ダブルフェースフロアブル3000倍 (前日-1回) ※アプロードエース FL ダニコングダニトロン散布回数によって散布できなくなります。 ダブルフェース ダニコング (1回)・ダニトロン (2回) の混合 アプロードエースFL アプロード (3回)・ダニトロン (2回) の混合</p>
<p>大根 9~2月</p>	<p>大根の作付け準備期間・播種期になりました。 余裕をもって播種時期を迎えられるように事前に防除等の準備に努めて下さい。</p> <p>○播種品種・播種日について 「冬自慢」…9月18日~28日播き ※収穫、11月下旬~年内 「冬得」…9月28日~10月5日播き ※収穫、12月下旬~2月上旬</p> <p>極端な早播きや遅播きは短根・長根となりやすいので播種の適期には注意して下さい。</p>	<p>○ネコブ、ネグサレセンチュウ 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・D-D 油剤 20L/10a 播種前 10~15 日前 くん蒸処理/被覆又は水封 1 回 ・ディトラベックス 20~30L/10a 播種前 14 日前 (砂質土) くん蒸処理/被覆又は水封 1 回 ・ソイリン 30L/10a 播種前 10~15 日前 くん蒸処理/被覆 1 回 <p>○センチュウ類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネマトリンエース粒剤 20k/10a 全面混和 播種前 1 回 ・ネマキック粒剤 15k/10a 全面混和 播種前 1 回 ・ラグビー粒剤 20~30k/全面混和 播種前-1 回 <p>○タネバエ、キスジノミハムシ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォース粒剤 6~9k/10a 混和 播種時 1 回 株元散布 6k/10a 生育期 1 回 ・ダイアジノン粒剤 4~6k/10a 作条混和 2 1 日前-播種時と生育期 1 回ずつ <p>○アブラムシ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタークル粒剤 6k/10a 播種時または生育期 1 回 <p>○亀裂褐色症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リゾレックス粉剤 20~40k/10a 全面混和 播種前 1 回 ・フロンサイド粉剤 30~40k/10a 全面混和 播種前 1 回

<p>水稻 4～9月</p>	<p>普通期栽培は早い所で刈り取りが始まっています。</p> <p>昨年はウンカの被害により坪枯れが多く発生しました。</p> <p><u>静岡県病害虫防除所による調査での誘殺数は平年より多く推移している為、今年も急激な増殖による被害が懸念されます。</u></p> <p>カメムシの防除を兼ねて必ず薬剤散布を行ってください。</p>	<p>普通期栽培】</p> <p>○防除</p> <p>[穂揃期] 2種混合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いもち病 ブラシフロアブル 1000倍（7日-2回） ・カメムシ類・ウンカ類 スタークル液剤10 1000倍（7日-3回） <p>※穂揃期の防除後もカメムシやウンカが多い場合は <u>エクシードフロアブル 2000倍（7日-3回）</u> を散布して下さい。</p>
<p>レタス 9～3月</p>	<p>9月に入ると本格的に播種が始まってきます。</p> <p>高温障害による発芽不良に注意して下さい。</p> <p>また、播種後に曇天が続く場合は苗の徒長に気を付けて下さい。</p>	<p>○播種</p> <p>培土の選択</p> <p>【9月播種】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与作N-150 ・スミソイルN-150ロングα（亜リン酸） <p>【10月播種】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨシダ培土A（N-180） ・スミソイルN-180ロングα（亜リン酸） <p>播種時のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種前の培土に十分に灌水する ・覆土は薄めにする ・発芽時の温度に注意する <p>※播種後24時間は涼しい所に置き発芽をさせる 発芽適温：15～25℃</p> <p>灌水は朝と昼の2回を基本としますが、曇天で培土が湿っているようであれば、朝1回でも構いません。 夕方への灌水は徒長の原因になるので控えて下さい。</p> <p>○育苗中の防除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斑点細菌病 予防 キノド[®]-707[®]アブル 800倍（21日-5回） ・すそ枯れ病 予防 ダコニール1000 1000倍（14日-3回） 治療 バリダシン液剤5 800倍（7日-3回） <p>※ダコニール1000はべと病の登録もあります ※すそ枯れ病、べと病共に苗で感染し定植後の本圃で発病する可能性があるため、予防の防除を行いましう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨトウムシ アフーム乳剤 2000倍（3日-3回） プレオフロアブル 1000倍（7日-2回） <p>○定植直前の防除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すそ枯れ病、菌核病 パレード20フロアブル 100倍（0.5ℓ/枚） ・ヨトウムシ、ナモグリバエ ジュリボフロアブル 200倍（0.5ℓ/枚） プレバソソフロアブル 100倍（0.5ℓ/枚） <p>※いずれも育苗期後半から使用できます。 育苗中の防除として定植1週間前に処理しておくこと</p>

		も可能です。
サニー レタス 9～3月	9月に入ると本格的に播種が始まってきます。 高温障害による発芽不良に注意して下さい。 また、播種後に曇天が続く場合は苗の徒長に気を付けて下さい。	<p>○播種 培土の選択 【9月播種】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与作 N-150 ・スミソイル N-150ロングα (亜リン酸) <p>【10月播種】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨシダ培土 A (N-180) ・スミソイル N-180ロングα (亜リン酸) <p>播種時のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種前の培土に十分に灌水する ・覆土は薄めにする ・発芽時の温度に注意する <p>※播種後 24 時間は涼しい所に置き発芽をさせる 発芽適温：15～25℃</p> <p>灌水は朝と昼の2回を基本としますが、曇天で培土が湿っているようであれば、朝1回でも構いません。 夕方への灌水は徒長の原因になるので控えて下さい。</p> <p>○育苗中の防除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斑点細菌病 予防 キノド[®]-707フル 800倍 (30日-5回) ・すそ枯れ病 予防 ダコニール1000 1000倍 (21日-2回) 治療 パリダシン液剤5 800倍 (7日-3回) ※ダコニール1000はべと病の登録もあります ※すそ枯れ病、べと病共に苗で感染し定植後の本圃で発病する可能性があるため、予防の防除を行いましょ う。 ・ヨトウムシ アフーム乳剤 2000倍 (3日-3回) プレオフロアブル 1000倍 (7日-2回) <p>○定植直前の防除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すそ枯れ病、菌核病 パレード20フロアブル 100倍 (0.5ℓ/枚) ・ヨトウムシ、ナモグリバエ ジュリボフロアブル 200倍 (0.5ℓ/枚) プレバソソフロアブル 100倍 (0.5ℓ/枚) <p>※いずれも育苗期後半から使用できます。 育苗中の防除として定植1週間前に処理しておくことも可能です。</p>
メロン 4～8月	(4～8月に掲載予定です)	(4～8月に掲載予定です)
馬鈴薯 2～6月	(2～6月に掲載予定です。)	(2～6月掲載予定です。)

☆☆隣接する圃場に他の作物が栽培されている場合、風のない日に防除する「ドリフト軽減噴口」を使用するなど十分な注意をお願いします。☆☆

次回発行 令和3年9月14日